

風景デザイン講義 「風景のとらえ方・つくり方」

景観法の制定により、土木構造物の設計・施工における景観への配慮が原則化するとともに、各地域で景観計画が策定されています。本講義では、建設技術者や都市計画技術者を対象として、現場において風景のとらえる際に役立つ景観工学や景観地理学に関する基本的知識と、土木構造物の景観デザインや景観計画策定の方法論を解説します。

※社会人景観トレーニング（7/24-25）と併せて受講されることをお薦めしています。

本講義は、土木学会継続教育（CPD）プログラムとして認定されています。単位数は1回につき2単位です。

第1回 2009年7月22日（水）18：30～20：30

風景の考え方とデザインの基礎 星野裕司（熊本大学准教授）

本講義では、風景に対する根本的な考え方と、その風景をデザインしていくための基礎的な事柄（「カタチ」「スケール」「仮想行動」）を解説する。また、学生主体のデザインシャレットの事例を通じて、デザインプロセスやその留意点を紹介する。

第2回 2009年8月19日（水）18：30～20：30

景観把握の方法と住民参加のデザイン 柴田久（福岡大学准教授）

本講義では、風景を捉えるうえでの基礎知識「景観把握モデル」「視覚を中心とした景観指標」について解説を行う。さらに住民参加の風景づくりを中心に、デザインプロセスの理論と実践について講述する。

第3回 2009年9月16日（水）18：30～20：30

風景を体験する—シーケンス景観の魅力 石橋知也（福岡大学助教）

風景を捉えようとする視覚認知の理論的立場から、実際の空間における「まとまったひとつながりの風景」をシーケンスとして解釈することを試みる。つまり、対象と視点の相対的位置関係から生まれる無数の風景の断片を、歩行などの活動を通して体験としてつなげようとする捉え方について考える。なお、風景の読み解きには博多を取り上げ、さらに橋梁を対象に風景デザインの評価・検証を行う。

第4回 2009年9月23日（水）18：30～20：30

自然地形の読み方とインフラの組み込み 仲間浩一（九州工業大学教授）

建設技術者にとって現場の風土理解の基本となるのは自然地理的条件である。この講義では国土地理院の1/25000地形図から分かる自然地理条件の読み取り方法と、そこに組み込まれた交通施設を始めとするインフラストラクチャーが風景形成に果たす役割について、具体的な地域事例を基に理解することを目的とする。

第5回 2009年10月7日（水）18：30～20：30

景観法の基礎と景観計画策定のポイント 高尾忠志（九州大学特任助教）

本講義では、景観法の基本的な枠組みを紹介した上で、官民協働で景観計画を策定した湯布院町や文化的景観の持続を狙った五島市の事例を通じて、景観計画を策定する際に留意すべきポイントについて解説する。

第6回 2009年10月21日（水）18：30～20：30

歴史的都市景観 その成り立ちと今日的課題 樋口明彦（九州大学准教授）

近世城下町の構造と今日の都市計画を比較しながら、わが国独自の歴史的町並み景観成立の背景とその保全活用をめぐる今日的課題について考える。事例として唐津、厳原での取り組みを紹介する。

第7回 2009年11月4日（水）18：30～20：30

「つくる」から再び「とらえる」へ 小林一郎（熊本大学教授）

まず、「特異点探索」の概要を説明する。次に、加久藤トンネルと日野川橋詰広場を事例に対象地の歩き方と「デザイン対象の転換」について考える。最後に、全講義を締めくくるにあたり、「風景のとらえ方」について再び、思いを巡らせた。

1.使用するテキスト

「風景のとらえ方・つくり方」（共立出版）を教科書として使用します。受講生には、各講義の関連部分を事務局より連絡します。毎回該当部分を事前に予習していただくことを前提として講義を行います。

「風景のとらえ方・つくり方」

小林一郎監修、風景デザイン研究会著
共立出版 定価3500円(税抜)



(本の解説)

景観の基礎事項の解説はもちろん、土木デザインにかかわる多様な主体・アプローチを実際に九州にある土地にあてはめ体系的にまとめた教科書。九州には多様な風景や地形が多く存在する。阿蘇、高千穂や桜島などに代表される山並み地形、門司港、長崎や福岡に代表される港湾都市、さらには佐賀の低地帯、美しい海岸線を有する宮崎、鹿児島などである。これら特徴的な土地を地形の歴史、履歴や土地ごとの風景の読み方、名所の評価などをきめ細かく行った。基礎編、実践編の2部構成からなり、本書を読み進めれば必ず土木デザインの肝を掴み取ることができる。(共立出版社HPより引用)

2.授業料

	風景デザイン研究会会員	非会員
一般	4000円/回、20000円/7回	6000円/回
学生	1000円/回、5000円/7回	2000円/回

※風景デザイン研究会協賛会員である企業の方は、会員価格で受講していただけます。

3.定員

30名程度

4.会場

熊本大学工学部まちなか工房
住所：熊本市南坪井町1-5
サンコスメディア2階
電話・FAX：096-326-9502

5.申込方法

- ・メールかFAXにて風景デザイン研究会事務局までお申込ください。
- ・申込締切は各回の3日前17:00とします。
- ・風景デザイン研究会会員を優先し、先着順受付となります。
- ・参加の可否については事務局からご連絡いたします。
- ・受講者の方には改めて詳細内容をご連絡いたします。

6.申込時にお知らせいただく項目

申込時には下記の点についてご連絡ください。

- ①氏名
- ②所属
- ③連絡先
- ④希望講義
- ⑤会員種別
- ⑥土木学会CPDプログラム参加の有無

7.申し込み先・問合せ

風景デザイン研究会事務局
九州大学大学院工学研究院建設デザイン部門
建設設計工学研究室内(担当：高尾)
tel:092-802-3392 fax:092-802-3391
e-mai:takao@doc.kyushu-u.ac.jp

講師紹介



小林一郎

熊本大学大学院自然科学研究科教授
【略歴】
1976年 熊本大学大学院土木工学専攻修了
1989年 工学博士(京都大学)
1997年より現職



樋口明彦

九州大学大学院工学研究院建設デザイン部門准教授
【略歴】
1984年 東京大学工学部土木学科卒業
1984年 五洋建設株式会社
1990年 コーネル大学大学修了
1998年 Doctor of Design(ハーバード大学)
1999年より現職



仲間浩一

九州工業大学工学部建設社会工学科教授
【略歴】
1988年 東京工業大学大学院社会工学専攻修了
1992年 同大学工学部社会工学科助手
1995年 九州工業大学工学部設計生産工学科准教授
2008年より現職



星野 裕司

熊本大学工学部社会環境工学科准教授
【略歴】
1996年 東京大学大学院社会基盤工学専攻修了
1996年 (株)アプル総合計画事務所入所
1999年 熊本大学工学部環境システム工学科助手
2006年より現職



柴田 久

福岡大学工学部社会デザイン工学科准教授
【略歴】
2001年 東京工業大学大学院情報環境学専攻修了
2001年 筑波大学大学院ビジネス科学研究科講師
2002年 四国学院大学社会学部応用社会学科講師
2005年より現職



高尾忠志

九州大学大学院工学研究院建設デザイン部門特任助教
【略歴】
2002年 東京大学大学院社会基盤工学専攻修了
2002年 (株)アトリエ74 建築都市計画研究所入所
2004年より現職



石橋知也

福岡大学工学部社会デザイン工学科助教
【略歴】
2005年 九州大学大学院都市環境システム工学専攻修了
2006年より現職

